

令和4年度 文京区立礪川小学校 授業改善推進プラン

＜ 生活 ＞

学年	現状分析	具体的な授業改善策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検や植物の観察等に関心をもって取り組むことができた。また、学校で働く人たちに興味をもち、調べたりまとめたりすることができた。 ・学校探検で見付けたことや、植物の成長や変化の様子など、活動や体験について、自分なりに表現することができた。 ・自分と身近な環境や人、自然とのかかわりに対して、児童の多様なものの見方や捉え方を生かす点に課題があり、気付きの質を高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動ごとにグループを作って、ワークシートをお互いに見合ったり、全員で話し合ったりさせる。自分の気持ちや気付いたことについての表現を広げたり深めたりさせる。 ・教室にワークシートを掲示することで、友達の考え方やワークシートの書き方に触れる機会を作る。 ・見付ける、比べる、例えるなどの多様な学習活動を授業に取り入れる。また、活動途中でお互いの作品を見合い、感想や質問を交わすことで気付きの質を高める。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きものなかよし大作せん」では、意欲的に生き物の世話をしたり、変化に気付いたりすることができた。 ・「ぐんぐんそだてわたしの野さい」では、ミニトマトの水やりを欠かさずに行ったり、「春だ今日から2年生」では、校庭で植物を探したりするなど、植物への興味・関心が高い。 ・気付いたことや分かったことなどを分かりやすい文章にすることに、苦手意識のある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察の時間に、ワークシートの書き方を毎度確認し、観察の視点を示すようにする。 ・グループで話し合ったり、ワークシートをお互いに見合ったりすることで、考えを深めさせる。また、教室にワークシートを掲示することで、友達の考え方やワークシートの書き方に触れる機会を作る。